

業務部速報



No. 65

発行 21. 10. 18

JR東労組 業務部

新幹線統括本部

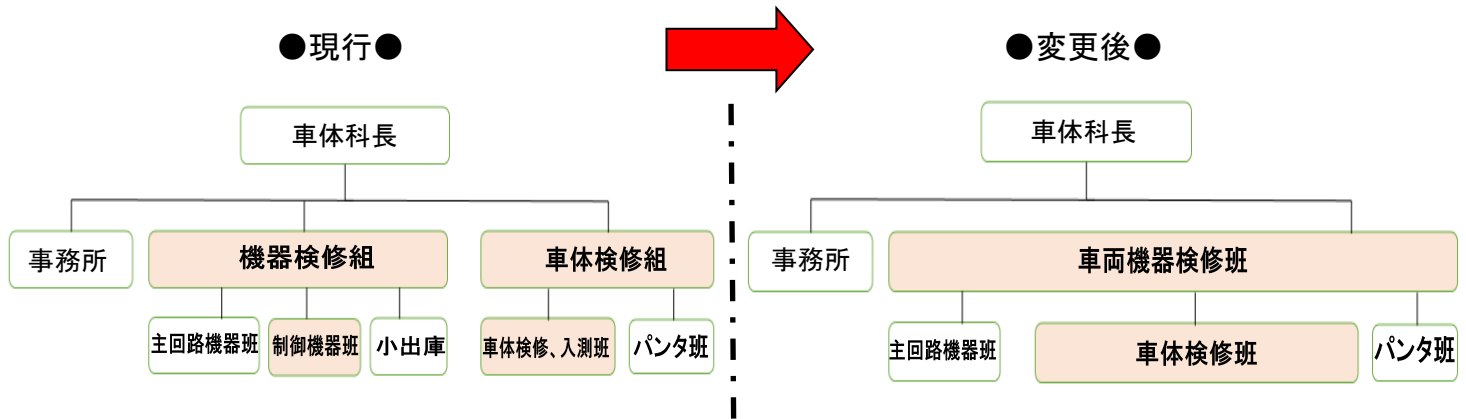
「車両メンテナンス業務の一部委託について」の提案を受ける!

提案内容

<目的>

グループ全体の持続的な成長と効率的な業務運営を目的に、新幹線総合車両センター車体科の業務を一部委託する。

1. 実施事項 ・弱電機器、空制装置検修作業を部外委託する。 ・入場測定作業を部外委託する。
2. 車体科の業務体制(組体制)を変更する。



3. 実施時期 2022年 4月 1日

4. スケジュール

| 10月 | 11月 | 12月 | 2022年1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|------|-----|-----|---------|-----------------|----|---------|
| 社員説明 | | | 教育関係 | 実施準備及び要領、契約関係整備 | | ★4月1日実施 |

提案時における議論の特徴点は下記のとおりです!

| | |
|--|--|
| 組合 エルダーが働く場の確保の考えはあるのか。 | 会社 エルダーの雇用先という側面もある。 |
| 弱電機器、空制装置検修作業の委託の機器名は何か。 | BCU、SRD、S-TIMS、ATCも含まれる。主回路は含まれない。 |
| BCU、ATC、S-TIMSは安全に直結する。委託しても安全は確保できるのか。 | 試験器で良否判定ができる。車両の運行可否、その危機の最終的な検査は落成検査でJR本体が変わりなく行う。 |
| 委託会社では業務量を受け入れられる体制は確保できるのか。本体の技術をどのように確保するのか。 | グループ全体で技術を確保していくことは変わらない。今後、JR本体として担うフィールドが変わってきている。品質保証を含めてデータ解析等が担うべき業務と考える。 |
| 教育スケジュールの詳細の考えはあるか。 | 基本的には入場した車両に合わせて、入場測定作業も弱電機器作業の教育も行う。具体的にはグループ会社と調整する。 |

職場に技術力を定着させるために職場から議論をつくり出そう!